

三田市下水道ビジョン(案)に対する意見募集について

下水道事業の今後10年(平成30~39年度)の指針となる「三田市下水道ビジョン(案)」を取りまとめました。

このたび、その(案)について、市民の皆さまからのご意見・ご提案を募集することとし、寄せられたご意見等については、本ビジョンを策定するにあたっての参考とするとともに、ご意見等の概要とこれに対する市の考え方を公表していきます。

1 下水道ビジョン(案)の内容について

三田市下水道ビジョン(案)概要版(別添資料1)

2 意見募集(パブリックコメント)の実施について

募集期間:9月21日(木)から10月20日(金)到着分まで

提出方法:意見書(任意様式)に住所、名前、電話番号を記入し、持参、郵送、ファクス、eメールで提出

閲覧方法:市ホームページ「意見募集(パブリックコメント)」に掲載、下水道課(3号庁舎2階)、市民センター

3 策定の主な経過と今後の予定

平成28年11月~29年9月	三田市下水道ビジョン策定懇話会(5回開催)
平成29年9月21日(木)	意見募集(パブリックコメント)開始
10月20日(金)	意見募集(パブリックコメント)締切
11月上旬	意見募集(パブリックコメント)に関する市の考えの公表
11月中旬	策定懇話会から市長へ提言
11月下旬	三田市下水道ビジョンの策定・公表

三田市下水道ビジョン(案) 概要版

1. 基本理念

三田市の下水道事業の現状とあるべき将来像を見据え、これまで整備してきた施設を次の世代へ引き継いでいくことが必要です。また、下水道事業が抱える課題を市民の皆さまと共有し、その解決を目指すため、以下に示すキーワードを掲げました。

快適な生活環境の創出を目指す「うつくしい水」

安全安心な暮らしの実現を目指す「暮らし」

赤字運営を解決し、次世代に先送りしない責任ある経営を目指す「今から」

市民と一緒に持続可能な下水道の構築を目指す「支え守ろう」

これらのキーワードを基に、基本理念を

~うつくしい水と暮らしを次世代へ~
「**今から みんなで支え守ろう さんだの下水道**」

としました。

2. 基本方針

基本理念の実現のために3つの基本方針を掲げ、施策を展開します。

快適な生活環境の創出

下水道の普及促進によって、武庫川等の公共用水域の水質保全に寄与してきました。今後は、未整備区域の整備と、下水道への未接続世帯についての早期接続を推進し、更なる公衆衛生の向上と維持に努めます。

安全・安心な暮らしの実現

都市化の進展に伴う雨水流出量の増大、大型台風、局地的豪雨などによる浸水被害や大規模地震発生に伴う下水道機能の停止など、下水道に関する事故は住民生活に大きな影響を与え、生命・財産に係る重大な事態を生じる恐れがあります。

災害や事故が発生した際でも、安全に暮らせる環境を創設します。

持続可能な下水道の構築

下水道施設の計画的な点検・調査、効率的な改築・更新を目指し、適切な維持管理や汚水処理機能の適正化計画を実施するとともに、経営基盤の強化を図るため、下水道使用料を改定します。

3. 施策への展開

基本理念

「うつくしい水とくらしを次世代へ」

「今からみんなで支え守ろう」

「さんだの下水道」

基本方針

快適な生活環境の創出

安全・安心な暮らしの実現

持続可能な下水道の構築

主要な施策

下水道普及の推進

- 汚水管路の整備
 - > 市街化区域の一部における、未整備箇所・未接続家屋の解消
 - > 下水道供用開始区域内における、未接続家屋への接続の啓発活動

浸水対策の推進

- 雨水管路の整備
 - > 市街化区域の一部における、未整備箇所・未接続家屋の解消
- 総合的な浸水対策の推進
 - > 雨水貯留タンク設置戸数の促進、防災調整池・貯留施設の整備、ハザードマップなどの情報共有の強化

地震対策の推進

- 計画的な地震対策
 - > 下水道総合地震対策計画の策定および下水道の重要施設の耐震化やマンホールトイレの整備促進
- 管路施設の耐震化
 - > 重要な幹線などの管路施設の耐震化の促進
- 下水道業務継続計画（下水道 BCP）
 - > 大規模地震が発生した際にも、速やかにかつ高いレベルで下水道が果たすべき機能を確保するための下水道 BCP 策定
 - > 災害発生時に下水道施設が損傷した際の備えとして、災害時仮設トイレの確保

効率的な施設管理の推進

- 計画的な施設管理
 - > スtockマネジメント計画の策定および下水道施設の計画的かつ効率的な管理の実施
- 点検・調査の実施
 - > 管路のテレビカメラ調査や処理場・ポンプ場施設の定期点検の実施
- 改築・更新の実施
 - > スtockマネジメント計画および点検・調査結果に基づいた改築・更新の実施
 - > 施設の延命化、コスト縮減および平準化

施設機能の検討・実施

- 施設統廃合の検討・実施
 - > 既存施設の効率的な事業実施に向けた、施設統廃合の検討・計画設計・実施
- 施設規模の適正化の検討
 - > 人口減少に適應した施設のダウンサイジングの検討
- 個別処理への転換の検討
 - > 集合処理から個別処理への転換を検討

経営基盤の強化、事業・経営の「見える化」

- 事業の効率化
 - > 限られた予算内での効率的な事業実施
- 事業・経営の「見える化」推進
 - > 市民・事業者への情報発信の強化
- 下水道使用料の改定
 - > 人口減少時代を見据えた下水道使用料の改定